

令和6年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	民俗資料収蔵室
所在地	豊橋市多米町字滝ノ谷34番地1の1
指定管理者	多米校区文化協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	教育部美術博物館(0532-51-2882)
令和5年度指定管理料 (決算)	1,004千円
令和6年度指定管理料 (決算見込)	1,044千円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	計画書の通り自主事業が実施された。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書に基づき人員配置がなされている。労働環境は関連法令等が遵守され、適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	業務従事者に管理運営の適切な実施について指導を行っている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急時には美術博物館への連絡を行うことになっている。地域と連携し防災訓練を行うなど危機管理に対する取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	確保されている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和5・6年度を比較)		R4年度	R5年度	R6年度	比較(R6-R5)
			開館日数	136日	137日	141日	4日
			利用者数				
			a.個人	1,751人	2,045人	1,736人	▲ 309人
			b.団体	1,290人	2,827人	1,782人	▲ 1,045人
			【要因分析】 令和6年度は外部イベントが2回分(700人程度/1回につき)減のため、前年度より団体、個人ともに減となった。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・ SNSや新聞等に季節の展示やイベントをPR ・ 「見どころ紹介新聞」を年間15号作成・掲示 ・ 季節の展示については、季節や行事ごとにテーマを決めて展示替え ・ 地域の小学校と連携し、絵画作品展示 ・ 地域と連携しイベントの開催				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	令和6年4月～令和7年3月に独自の利用者アンケートを実施 運営全般に関して とても満足 59.3% 満足 29.0% ふつう 9.3% やや不満 1.2% 不満 1.2% 「とても満足」「満足」が88.3%と多数を占める。「ふつう」9.3%、「やや不満」「不満」を感じている利用者が2.4%結果になった。 普通～満足が97.6%で利用者の満足度は高いと考えられる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応		
昔の暮らしや豊橋の様子、古い貴重な道具があり、詳しくわかりやすく面白い施設である。			校区や学校とも連携し、活動を続けたい。				
キャプションが褪せて古い。			新しいキャプションに書き換え、わかりやすくイラストなども加えたい。				
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	冷暖房がなく暑い。トイレが建物外にある。		冷暖房がない旨をHPで伝え、熱中症対策等の必要を周知する。			
		利用者からの苦情等はなかった。					

管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は適切に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	乖離していない。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	1,044千円	指定管理事業費	1,044千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
	その他収入					
		収支差額		0千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	施設管理にとどまらず、ロケーションを生かした屋外における季節の展示、屋内のテーマ展示を行った。地域の多米小学校、岩田小学校と連携し、全校児童の絵画作品展示を開催するなど学校や校区団体と連携してイベントを行なった。「見どころ紹介新聞」を作成・掲示したり、体験実習でウォークラリー形式を取り入れるなど来場者が楽しめるように努めた。
-----------------	---

当年度の対応方針	SNS等を積極的に活用し、民俗資料収蔵室の魅力発信に努め、地域と連携しながら民俗資料収蔵室の利用者獲得に努めてほしい。
----------	---

指定管理者の自己評価	仕様書に基づき適切に業務を行った。こまめに点検を行い、破損や不良部分を遅延なく美術博物館に報告した。地域のボランティアと協力して、屋外の植物やグラウンドの整備、季節の展示など美観に務めた。また館内外を展示替えし、利用者から好評を得た。テーマごとの展示替えに加え、「見どころ紹介新聞」を作成し、イラストなどでわかりやすく解説する工夫をした。
------------	---

総合評価	事業計画書、協定書、仕様書等に基づき適正に管理されている。アンケート結果は高評価を得ており、自主事業の「古多米で七夕飾りを作ろう」や「古多米で『くど・うす体験』をしよう」に加え、季節や行事ごとにテーマを決めて「魅せる」展示を心がけ、年代を問わず楽しめるような展示を行い、利用者から好評を得ている。 前年度の大きなイベント開催がなかったこと(団体1,400人規模)で来館者減にはなっているが、同条件のR4と比較しても利用者は増加しており、地域と協力して活動内容を充実させていることも大変評価できる。
------	---

次年度の対応方針	一部劣化したキャプションを見直し、新しく見やすいもの書き変えるなど、更なる展示工夫に努めていただき、民俗資料収蔵室の知名度向上及び利用者の獲得に努めてほしい。
----------	---